



フォト ニュース



2



2



3



1



3



1

3 稚魚の回帰を願いウナギを放流！

5月28日（金）志布志湾養鰻協会（会長斎藤和昭さん）は、菱田川河口においてウナギの放流を行いました。

放流したのは、2年ほど育てられた成魚で、約1.5 tを波打ち際に放ちました。

21日（金）には、大崎町内水面種苗組合が、有明、垂水の採捕組合と合同で500キロを放流しており、これまで約2 t（8,000匹）が放流されました。

今年は、シラスウナギの捕獲量が過去2番目の低さとなり、県は3月末までだった漁期を27年ぶりに延長しました。

両団体では、シラスウナギの資源保護のため、10年ほど前から放流を実施しており、「稚魚となり帰ってきてほしい」と回帰を願いました。

1 花いっぱい運動！

5月27日（木）南九州大崎ロータリークラブ（会長新小倉龍一さん）では、青少年育成活動の一環として、花いっぱい運動を野方小学校で行ないました。

参加したのは、同小学校3年生20名、4年生16名の合計36名でした。

会員は、450本の花の苗を子ども達と配色を考えながら協力し、花壇へ植えました。

活動後、給食会へ参加し、交流を図りました。

2 菱田川河川伐採ボランティア！

5月28日（金）大崎町建設業同志会（会長岡留政志さん）と大崎土木会（会長宮原晴美さん）は、合同で菱田川河川伐採ボランティアを行ないました。

参加したのは両団体の32社、菱田川上流から菱田橋までの両岸約1 kmを草刈り機で伐採後、フォークリフトにて集積・積み込みを行い、大崎有機工場へ搬出しました。

このボランティアは、地域貢献の一環として今年で7回目を迎えます。ありがとうございました。